

# 栃木県社会事業史 目次

口絵・写真

発刊のことば……………栃木県社会福祉協議会会長 藤松 正憲……………一

まえがき……………栃木県社会事業史編集委員長 山本 光二……………三

例 言……………栃木県社会事業史刊行委員会……………五

第一編 総論……………一

第一章 社会事業の意義……………一

第二章 社会事業の変遷……………五

第一節 徳川以前における慈善救済……………五

第二節 江戸時代における慈善事業……………八

第三節 明治以降における社会事業……………一〇

第二編 江戸時代の慈善事業……………一五

第一章 江戸時代の窮民対策……………一七

第一節 農山村の荒廃と窮民放蕩……………一八

一 農山村の過疎化防止……………一八

目次

- 二 遊民・無宿者の横行……………一九
- 第二節 徳川幕府の社会政策……………二一
  - 一 幕府の勸農心得と農業生産の発展……………二一
  - 二 新田開発と明けゆく殖産興業への道……………二四
  - 三 年貢の増徴と前納制……………二五
  - 四 地主と小作農……………二七
  - 五 虫類・野鳥などに対する政策……………二八
- 第二章 下野における窮民恤救……………三二
  - 第一節 農業政策による窮民対策……………三二
    - 一 農聖・二宮尊徳の偉業と影響……………三三
    - 二 鬼怒川沿岸の開拓……………三六
    - 三 真岡代官の治績……………三八
    - 四 山口代官の社会教化……………四四
    - 五 加賀藩からの農民移住……………四五
    - 六 水利事業による農村開発……………四七
    - 七 石井磯岳の荒廃地復興……………五〇
    - 八 商人木村半兵衛の農村改善……………五二
    - 九 喜連川藩主の農政……………五三
    - 十 那須・塩谷地区の開発……………五五
    - 十一 その他の農村開発……………六二
  - 第二節 殖産興業の開発……………六九
    - 一 益子焼の始祖……………六九

- 二 製茶業の創始……………七〇
- 三 たばこの栽培……………七一
- 四 朝鮮人参の栽培……………七二
- 五 真岡木綿の創業……………七四
- 第三節 窮民と社会騒動……………七五
  - 一 百姓一揆……………七五
  - 二 民衆暴動「打こわし」……………八七
- 第四節 社会制度としての村落における救済活動……………九三
- 第五節 教育と慈善思想……………九四
  - 一 藩学のぼっ興……………九四
  - 二 寺子屋・私塾の普及……………九六
  - 三 下野心学の普及……………一〇三
  - 四 社会の教化運動……………一〇五
- 第六節 慈善救済活動……………一八
  - 一 仁医・鳥越弁南……………一八
  - 二 鈴木石橋の窮民救済……………一九
  - 三 鈴木為蝶軒の民政……………二一
  - 四 石井包孝の農村開発……………二六
  - 五 遊女問題の対策……………二八
- 第三編 明治より大正初期ごろまでの救済事業……………一三三
  - 第一章 一般救済事業……………一三五

第一節 恤救規則による救済 ..... 一三五

一 恤救規則の概要 ..... 一三五

二 恤救規則による救済状況 ..... 一三六

第二節 棄児の救済 ..... 一三九

第二章 特殊救済事業 ..... 一四一

第一節 災害救助 ..... 一四一

第二節 盲ろうあ教育 ..... 一四四

第三節 釈放者保護事業 ..... 一四七

第四節 感化事業と那須学園 ..... 一五〇

第三章 民間による慈善救済 ..... 一五五

一 足利友愛義団 ..... 一五六

二 那須野孤児院暁星園 ..... 一六六

三 栃木婦人協会 ..... 一六九

四 財団法人三好園 ..... 一七七

五 財団法人下野三楽園 ..... 一八一

六 社団法人秋山奨学会 ..... 一八六

第四編 大正初期より日中戦争期までの社会事業 ..... 一九五

第一章 救済事業から社会事業へ ..... 一九八

第二章 救貧事業 ..... 二〇一

第一節 一般救護事業 ..... 二〇一

一 救護法による救貧事業 ..... 二〇一

二 医療保護事業 ..... 二〇三

三 方面委員事業 ..... 二〇四

第二節 特殊救護事業 ..... 二〇〇

一 行旅病人等の救護事業 ..... 二〇〇

二 罹災救助事業 ..... 二〇一

三 軍事救護事業 ..... 二〇二

第三章 児童保護事業 ..... 二二四

第四章 社会教化事業 ..... 二二八

第一節 きょう風事業 ..... 二二八

第二節 釈放者保護事業 ..... 二三〇

第三節 地方改善事業 ..... 二二三

第五章 福利（経済保護）事業 ..... 二三八

第一節 職業紹介事業 ..... 二三八

第二節 公設市場 ..... 二三九

第三節 住宅供給事業 ..... 二三九

第五編 日中戦争より敗戦までの厚生事業 ..... 二三一

第一章 救済保護事業 ..... 二三五

- 第一節 救護事業……………一三五
- 第二節 母子保護事業……………一三七
- 第三節 医療保護事業……………一四〇
- 第二章 児童保護事業……………一四二
- 第一節 保育事業……………一四二
- 第二節 少年救護事業……………一四四
- 第三節 小児健康相談事業……………一四七
- 第三章 経済保護事業……………一五二
- 第一節 小資融通制度……………一五二
- 第二節 公益質屋事業……………一五三
- 第三節 授産事業……………一五五
- 第四節 住宅供給事業……………一五七
- 第四章 軍事援護事業……………一五八
- 第一節 軍事保護事業……………一五八
- 一 軍事扶助事業……………一五八
- 二 婦人相談員の活動……………一六〇
- 三 民間団体による軍事援護……………一六一
- 第二節 徴用援護事業……………一六三
- 第三節 戦時災害保護事業……………一六三

- 第五章 社会教化事業……………一六七
- 第一節 隣保事業……………一六七
- 第二節 協和事業……………一六九
- 第三節 司法保護事業……………一七〇
- 第六章 農村社会事業……………一七三
- 第六編 戦後における社会福祉事業……………一七五
- 第一章 緊急援護時代……………一七八
- 第一節 緊急援護事業……………一七八
- 一 緊急生活援護……………一七八
- 二 戦災者・引揚者の援護……………一七九
- 第二節 災害救助……………一九九
- 一 カザリン台風……………一九九
- 二 アイオン台風……………二〇二
- 三 キテイ台風……………二〇二
- 四 今市地震……………二〇四
- 第三節 占領軍による援助活動……………二〇八
- 一 占領軍の援助活動……………二〇八
- 二 ララ・ユニセフ物資の配分……………二一一
- 三 共同募金への助言指導……………二一三

第二章 社会福祉事業時代	三二五
第一節 敗戦後の社会事業の展開	三二五
第二節 社会福祉事業法の制定	三二九
一 社会福祉事業法の成立過程	三二九
二 社会福祉事業法の概要	三三〇
三 社会福祉法人	三三二
第三章 社会福祉行政	三二九
第一節 生活保護事業	三二九
一 生活保護法の制定と経過	三二九
二 生活保護法の概要	三四一
三 生活保護行政の概況	三四八
第二節 児童福祉事業	三五九
一 児童福祉法制定の経緯と推移	三五九
二 児童福祉法の概要	三六一
三 児童手当等の諸制度	三七九
四 母子保健と乳児医療	三八二
五 児童の健全育成	三八五
第三節 青少年の健全育成	三九四
一 青年団の変遷とその活動	三九四
二 青少年の健全育成	四〇七
三 栃木県の青少年団休	四一七

第四節 心身障害者福祉事業	四二一
一 心身障害者対策基本法の制定	四二一
二 身体障害者福祉法制定の経緯と現状	四二二
三 精神薄弱者福祉法制定の経緯と現状	四三九
第五節 母子福祉事業	四四九
一 母子福祉資金の貸付等に関する法律制定の経緯	四四九
二 母子福祉法の制定と現状	四五七
三 その他の福祉対策	四六三
四 母子福祉団体	四六六
第六節 老人福祉事業	四七〇
一 老人福祉制度の変遷	四七〇
二 高齢人口の推移と老人問題	四七一
三 老人福祉対策の概況	四七五
第七節 婦人保護事業	四九五
一 売春防止法制定の経緯	四九五
二 売春防止法による福祉措置	五〇二
三 環境浄化対策	五〇三
第八節 旧軍人軍属及び戦没者遺族の援護事業	五〇四
一 旧軍人軍属の恩給	五〇四
二 戦傷病者・戦没者の遺族援護	五〇五
三 旧軍人軍属の叙位叙勲	五一〇
四 旧金鵝勲章受給者に対する特別措置	五一一

五	旧軍人軍属及び一般邦人引き揚げとその援護	五二二
六	関係団体の状況	五一六
第九節 災害救助事業		
一	罹災救助基金法時代の事業	五一八
二	災害救助法	五一九
三	栃木県災害救援見舞金制度	五二〇
四	栃木県小災害救助内規	五二三
五	災害弔慰金の支給並びに災害援護資金貸付制度	五三三
第十節 その他の社会福祉事業		
一	更生保護事業	五二六
二	行旅病人死亡人取扱事業	五三〇
三	公益質屋	五三二
四	消費生活協同組合	五三五
五	授産事業	五三八
第四章 民間社会福祉事業		
第一節 社会福祉協議会		
一	栃木県社会福祉協議会設立の経過とその活動	五四四
二	郡市町村社会福祉協議会	五四五
第二節 共同募金会		
一	共同募金会	五八二
第三節 民生・児童委員制度とその活動		
一	先駆的な輔導委員制度とその活動	五八九
二	輔導委員から方面委員	五九三

三	方面委員令による方面委員	五九六
四	方面委員から民生委員へ	六一〇
五	これからの民生委員活動	六一八
第四節 栃木県福祉事業会から栃木県厚生事業団へ		
一	栃木県福祉事業会の経過と事業	六一九
二	栃木県厚生事業団設立の経緯と現状	六二二
第五節 済生会宇都宮病院		
第六節 日本赤十字社栃木県支部		
第七節 愛の基金協会		
第五章 社会保障制度と将来への展望		
一	社会保障制度の概観	六四一
二	社会保障の将来への展望	六四三
付録 栃木県社会事業史年表		
あとがき		六八五